

丹沢たかし活動報告

市川三郷町市川大門1227 TEL/FAX 055-272-0413 丹沢たかし後援会



ごあいさつ

桜から桃の濃いピンクの花へと移り、甲府盆地周辺も最も美しい季節になりました。我が家のボタンも大きな花をつけました。(写真)



4月となり新年度が始まりました。新たな環境での生活をスタートされた方も多いと思います。

高視聴率を維持したNHK朝の連続テレビドラマ「あさが来た」も終了しました。女性が「家にいる」のが当たり前の時代に、「広岡浅子」という人が、実業界で活躍し、さらに女子大学開設への貢献により、現在の「女性が活躍する社会」を切り開いた人物であったことを、このドラマで初めて知りました。今「当たり前」となっていることも、様々な分野での先駆者の苦勞と先見性のお蔭で現在があることを改めて思い起こしました。

東日本大震災から5年目を迎えたばかりの先日、「熊本地震」が発生しました。活断層が想定を超えて動き、震源が移動し、九州を横断するまでの広域災害となりました。今回の地震は、最初が「前震」となり、その後の「本震」による犠牲者が多いことがこれまでの地震被害とは相違する点でした。

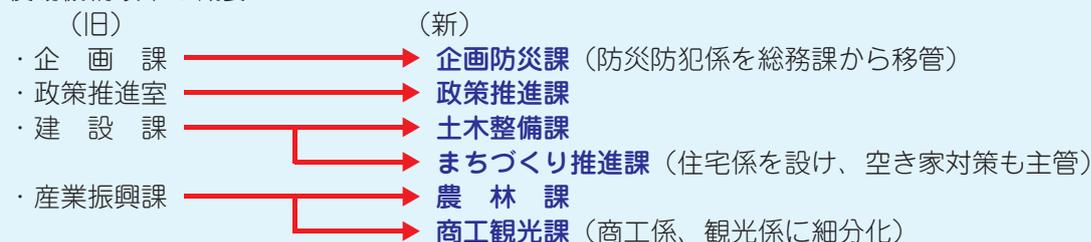
県内の代表的な活断層として、①新潟県から静岡県に至る糸魚川—静岡構造線断層帯の南部区間（北杜市から早川町まで） ②曾根丘陵断層帯（甲州市から市川三郷町まで） ③身延断層（身延町から静岡県まで）があるそうです。この近辺は、「災害があまりない地域」ではありますが、例え発生の予測確率が低くとも、災害が「起きるかもしれない」ではなく、「いつ起きるか」という危機感を強く持つ必要性を改めて感じました。地震・水害等への万全の事前対策を講じることは言うまでもありませんが、災害はそれぞれ状況が異なります。「想定外」の事態は必ず起きることを前提に、近所での問題意識の共有化や、普段から「『いざ』という時にどのような行動をとるべきか」の意識を高めておくことが大切であると思います。

各地の災害復旧・復興が少しでも早く進むことを願っています。

4月役場の機構改革が行われました。

これにより、「空き家対策」の主管課が明確化され、観光担当が専任化されました。

役場機構改革の概要



■定例議会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。（概ね2週間の会期で開かれます）
この他に、必要により、臨時会が開かれます。

一般質問 9月・12月定例議会で以下の一般質問を行いました。

* 詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

1. 「市川三郷町出身者の会」を連携型で設立を

◆質問概要

交流人口を増やし、町の活性化に資する組織として「『市川三郷町出身者の会』を設立したらどうか」との質問を3月議会で行った。その後の検討状況はどうか。

また、設立の形態としては、地元の住民も会員対象とした「連携型」が望ましい。事務局機能は行政が担い、会を積極的に運営・活用すべきである。

●町長

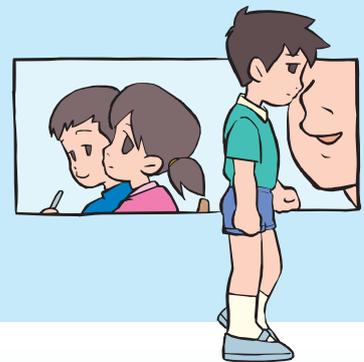
「出身者の会」は、町にとって意義ある会であると考えている。今後早急に町、議会、商工会等有識者による対策チームを立ち上げ、設立に向けた検討に入り、取り組みを具体化したい。

2. 町内小中学校における「いじめ対策」について

◆質問概要

文部科学省により「いじめ」に関する全国調査が行われた。町内小中学校での現状及び対策はどうか。

- ① 本町の小中学校における調査結果とその評価について
- ② いじめ防止基本方針の概要と対応状況について
- ③ 運用状況のチェック体制の考え方について
- ④ 家庭との連携について
- ⑤ スマートフォンの使用ルールについて



●斉木教育委員長

- ① 調査結果は小学校4件、中学校21件。25年度より小学校で10件、中学校で5件減少した。
- ② 各学校で「いじめ防止基本方針」を策定済み。いじめ対策の組織体制、未然防止や早期発見の取組み、発生時の対処方法、家庭や地域との連携等を規定している。
- ③ 各学校に「いじめ対策推進委員会」を設置し、各学期にアンケート調査、実態把握、いじめ防止基本方針の運用状況のチェックを全教職員で実施している。
- ④ 学校だより、電話連絡等により日常的に家庭との情報交換を行い、学校・家庭の連携により未然防止や早期発見に努めている。
- ⑤ 県PTA連合会、県教育委員会、町教育委員会等で携帯電話等の基本ルールを提示し、各家庭でのルール作りを進めるよう、各学校に取組みを要請している。

3. まちの花「りんどう」で甲斐源氏発祥の地の発信強化を

◆質問概要

市川三郷町のまちの花は「りんどう」が指定されている。市川高校・市川小中学校の校章も笹りんどうである。「甲斐源氏発祥の地」として、源氏の家紋とりんどうとのつながりから指定されたものである。町内全域に「りんどう」の花を普及させることにより、「甲斐源氏発祥の地」としての対外発信を強化したらどうか。

●町長

「甲斐源氏発祥の地」として更なる誇りを持って情報発信に努めていく。

りんどうは過去町内での自生地調査を行った。役場職員が10年がかりで栽培しているが普及させる段階までには至っていない。更なる取り組みを進め、普及に努めていく。



主な特記事項

●手話条例制定

- ・「手話も一つの言語である」として定義する「市川三郷町手話言語条例」を昨年9月議会で制定した。県内初である。
- ・今後「手話施策推進会議」を設け、具体的な施策を検討し、3か年計画を策定する。
- ・今年の成人式でも手話通訳者が舞台での通訳を行った。

●子育て支援医療費助成金支給条例の改正

- ・町独自の施策として、満18歳まで（従来満15歳までを上げた）の医療費の窓口無料化を昨年10月より実施。補正予算として、半年分で648万円追加計上。

●重度心身障害児の医療費の窓口無料化

- ・町独自の施策として、今年1月より重度心身障害児の医療費についても窓口無料に戻した。
- ・一昨年11月に県方針により一時払い方式に変更された。
- ・県も、重度心身障害者の医療費支払いを「満15歳（の年度末）までを対象に4月から窓口無料に戻す方針」との報道がなされている。

●町議会会議規則の改正

- ・社会情勢を考慮し、議長あてに提出する議会欠席の理由として「出産」を追加した。

● 峡南医療センター企業団（市川三郷病院、富士川病院、2老健の運営）

■ 経営概況

- ・平成26年度に統合。統合1年目の26年度に約7億122万円の赤字決算。
- ・主に病床利用率の低迷（市川三郷病院29.9%、富士川病院41.4%）による収入減少が要因。
- ・27年度に、開設者である市川三郷町と富士川町で、それぞれ3億6500万円を融資。
- ・コンサルタント案をベースとした経営改善計画に基づき改善を図る。

■ 全員協議会（3月1日）での説明内容

① これまでの改善計画案

- ・「市川三郷病院」の外来透析と泌尿器科を「富士川病院」に移す（H28.7～）。
- ・「市川三郷病院」は療養病床40床とする。
- ・手術室を「富士川病院」に集約する。

② 見直し案

- ・外来透析は「市川三郷病院」に残す。
- ・28年度「市川三郷病院」は、一般病床50床とする。
- ・28年10月を目途に「市川三郷病院建設委員会」を立上げる。建設基金設置を検討する。

* 峡南医療センター企業団に対する町の28年度当初予算

・ 出資金 2,500万円 負担金 1億7,366万円

● 市川三郷町「まち・ひと・しごと創生」総合戦略概要

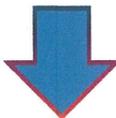
人口ビジョン

中長期展望（2060年を視野）

・国が目指す、2010年人口1億2000万人に対し50年後の2060年人口1億人(Δ17%)を念頭に緩やかな人口減少



2010年人口:17,111人に対し、
2019年人口:15,800人
2060年人口:14,200人
(Δ17%)を将来の目標人口として設定。



・自然増のため、出生率を引き上げる。
2020年に1.50 2025年に1.71
2030年以降に1.93
・社会増のため、他地域からの定住促進を図る。

総合戦略

『2015年（平成27）～2019年（平成31年）』の5ヵ年

目指す基本目標 (数値目標)	理念	重点プロジェクト
<p>将来の担い手の育成に向けて、子育て支援の充実と郷土愛教育により、まちを誇りに思える児童・生徒を増やす</p> <p>合計特殊出生率 1.50</p>	<p>○結婚・出産・子育てを支援する</p>	<p>①安心して産み育てるための子育て支援 ②特色ある教育プログラムの実施 ③郷土愛教育の実践</p>
<p>情報の発信と交流の推進により、知ってもらい、住んでもらえる、まちづくりを進める</p> <p>交流人口増 3,400人</p>	<p>○まちへの新しい人の流れをつくる</p>	<p>①戦略的なまち情報の発信 ②身延線を活用した観光キャンペーン ③交流による“にぎわい”の創造</p>
<p>若者の積極的な受け入れと定住の促進により、地域の核となる人材の育成を進める</p> <p>移住世帯 20世帯</p>	<p>○安全に暮らすための地域連携と定住促進</p>	<p>①都市生活者の受け入れの推進 ②若者の定住対策</p>
<p>地域資源(自然・歴史・文化・産物)のブランド化と観光への取組により、このまちでの起業と就労を支援する</p> <p>新規就労者数 50人</p>	<p>○安心して働けるための産業振興と雇用の創出</p>	<p>①農業の6次産業化 ②地域資源の観光資源化への取り組みと企業支援 ③地域伝統産業の継承支援 ④将来を見据えたマーケティング</p>

目指す将来像
自然と歴史と文化を
活かすまち、
市川三郷町

宛先などに誤りがございましたら、なにとぞご容赦ください。

なお、お知らせいただければ幸いに存じます。